2019 年度（秋スタート・1 年）
University of New South Wales

# Y．S．英語英文学科・３年次

## Ⅰ．留学レポート

### ①　協定留学を目指した理由

高校が国際文化科だったこともあり、元々国際交流が好きで、学生時代に一度は長期留学に行きたいと高校生の頃からぼんやり考えていました。大学入学後、長期の協定留学制度があることを知り、本格的に在学中に留学することを考え始めました。

### ②　留学を目指してから出願までの英語学習方法

IELTS で出願することを決めたのですが、それまで一度も受けたことがなく、まず慣れることが大事だと思ったので、セクションごとに詳しく説明してくれる教材・過去問や模擬試験が載っている教材を併用していました。隙間時間にも勉強できるように単語帳も持ち歩いていました。

### ③　留学決定から出発までの準備期間

オンライン英会話などを利用したり、高校時代の未だ仲良くしてくれている ALT の先生とカフェで練習させていただいたりしていました。オンライン英会話は、フィリピンの講師が在籍している比較的格安のプランで英語を話す環境を習慣づけました。ビザ申請はエージェントさんに依頼すれば必要事項を送れば代行で申請していただけるとのことでしたが、留学前から自分でできることは自分でしたかったので依頼せず、申請方法が説明してあるサイトなどを見て申請しました。

### ④　現地到着後

空港送迎を依頼しなかった為、現地に着いて Uber でホームステイ先へ向かいました。私は以前 Uber を利用していたのでアカウントを作る必要はなかったのですが、もし一度も Uber を使ったことがない方は日本にいる間に登録を済ませておいたほうがいいと思います！日本のように電車やバスがどこにでも走っている訳ではないので、日本でタクシーを使う頻度よりよく利用します。（その時によって値段が変化する為、その他に DiDi/Bolt も併用していました。）

オリエンテーションは現地到着の次の日にあり、キャンパスツアーや説明をグループに分かれて受けました。

### ⑤　語学研修期間

#### ◆　語学研修先の施設・環境について

UNSW global で 20 週間、UEEC コースの授業を受けました。キャンパスが Randwick と Kensington キャンパスがあり、UEEC コースは Randwick キャンパスでした。互いの距離

は歩いて 30 分程で、すぐ往き来できる距離ではありませんでした。Kensington キャンパスはカフェやその他施設が充実していたので、時間がある時は授業後に友達とご飯を食べに行っていました。Randwick キャンパスは比較的小規模で、軽食を持ち込んで食べることができる部屋や食べ物が売っている自動販売機がキャンパス内にあり、休み時間には隣の TAFE（専門学校）のカフェテリアを利用したり、近くのガソリンスタンドに併設されているコンビニエンスストアに行っていました。

**◆　授業内容、課題、試験**

私がいた Randwick キャンパスは大学進学を目的としたコースで、大学のメインキャンパスのすぐ側にある Kensington キャンパスは、英会話など短期間のコースを受講している学生が多かったです。大学進学を目的としているので、学術的な内容であったり大学で出るような課題をベースにしたものが多く、クラスメイトのレベルも高かったです。私がいた 20 週間を通して Randwick キャンパスには私の他に日本人はいなかったので、英語漬けになれる環境でした。コースは段階的で week20、week15、week10 と段々とレベルが上がっていき、その都度教科書が変わります。課題は毎日あるのですが、最初の 10 週間は予習復習など軽いものが多く、後の 10 週間はパスしないと大学に入れない重要度の高いテストやプレゼンテーション、グループディスカッションがほぼ毎週ありました。先生は 1 週間を通して 2 人おり、5 週間ごとに 1 人ずつ変わり、先生によって授業方法が異なっていたのがやりづらかったです。クラスメイトは私を含めて 18 人で、16 人が中国から来た学生、1 人がイタリアからの学生でした。18 人中 15 人は母国で大学卒業後に UNSW で修士を得る為に来ていました。私以外理系で、授業も IT などの理系の題材をベースとしていたので、基礎知識がない私には普通の授業でも難しく感じました。

**⑥　正規科目履修期間**

**◆　大学の施設・環境について**

メインキャンパス（Kensington）はとても綺麗でとにかく広く、教室の位置によってバス停を変えるほどでした。図書館も広大で、キャンパス内には多数勉強スペースがあります。キャンパス内ならどこでも Wi-Fi が飛んでいるので便利です。

**◆　履修科目**

**・The Structure of Language**

言語学の授業です。同志社女子大学で言語学の授業を受講していたので、内容は理解しやすかったです。ほとんどの学生が最低 2 ヶ国語以上を話していました。

**・Indigenous Australia**

オーストラリアの先住民の歴史、文化の成り立ちについての授業です。アメリカからの留学

生が 8 割以上でした。オーストラリアで生活している以上、もっと深く歴史を知りたいと思ったので受講しました。

・Marketing Fundamentals

マーケティングの授業です。基礎的な内容ですが、いきなり英語で学ぶには難しかったです。Tutorial では毎回沢山発言しないといけず、内容把握はもちろん、他の学生の意見を瞬時に理解しないといけなかったのでこの時間が一番大変でした。

**◆　授業、レポート、定期試験**

どの授業も基本的には Lecture と Tutorial で構成されていて、1 科目につき週に 2 日は授業があります。Lecture はいわゆる大講義の授業で、必死にノートを取っていました。Tutorial は少人数で行われ、講義の内容をより深く話し合ったり、プレゼンテーションをしました。

私はコロナの感染拡大に伴い、早期帰国を決めたので定期試験や期末のレポートなどは実施されていません。

**⑦　クラブ、課外活動、ボランティア活動**

UNSW ではクラブやサークル活動(通称 Arc)が盛んで、私もダンスサークル・フードサークルに入りましたが、本格的に活動する前に外出自粛でほとんど何も活動されませんでした。オンラインではインスタライブで活動をしたりしていました。

**⑧　現地での住まい（語学研修期間、正規科目履修期間）について**

ホームステイは 1 か月で終了し、寮に移りたかったので毎週デスクに相談に行っていました。最初の Uni Lodge は完全一人部屋で、キッチンが各フロアにありました。勉強などのコミュニティーもあったので便利でした。契約期間が満了したので、次にメインキャンパスの目の前の New College Village に移りました。忙しい時に 1 人で利用しても食堂では誰かしらに会うので楽しく交流できます。

UNSW には他にもっと寮があるので、直接見に行ったりして自分の目で確かめることが大事だと思います！もちろん希望の寮に必ず入れるわけではありませんが（私は希望していた 3 つの寮に選考漏れしました…)、学生寮といっても費用は高いので慎重に選ぶべきだと思います。UNSW の Gate5 の近くに Accommodation オフィスがあり、唯一日本人のスタッフさんがここにいらっしゃるので相談していました。寮によって留学生が多かったり、アメリカのエージェントと繋がりがあるからアメリカの学生を優先する寮が多かったです。

**⑨　長期休暇の過ごし方**

クリスマス・年末年始休暇の 2 週間しか長期休暇がなかったので、ゴールドコーストに旅行しに行きました。

**⑩　留学期間中の就職活動の取り組み**

早期帰国が決まってから就職活動を始めたので、インターネットで情報を得ることくらいしかしていませんでした。大学 1 年次にアメリカへ 1 か月間だけインターンに行きました。

**Ⅱ．留学の感想**

**①　留学中で楽しかったこと、最も思い出に残っていること**

休暇中にゴールドコーストへ旅行したことです。夏のクリスマスにビーチに行ったり、テーマパークやハイキングに出かけたりととてもいい息抜きになりました。また、シドニーにも気軽に行けるビーチが沢山あるので、授業終わりにビーチにのんびりしに行くのも大好きでした。

**②　留学中でつらかったこと、最も苦労したこと**

Tutorial にいる時はほとんど周りが中国から来た学生で、みんな優しいけれども授業外では母国語を喋っていたので会話に入れず、授業が難しい中、みんなは中国語で誰かに説明してもらえるけど自分は自力で頑張るしかなく、日本語を息抜きに話す環境もなく、孤独に感じる場面がありました。その中でもパーティーなどに呼んでくれるようになったり、遊びに出かけたりと今ではいい環境だったと思います。

**③　文化・習慣の違いなどで驚いたこと**

お店は 5 時から、遅くても 8 時にはほとんどのお店が閉まってしまう点はとても不便でした。

また、現地の友達は夏でも冬でも一年中ビーチサンダルで出かけていたことに驚きました。クラスメイトのホームパーティーへ数回行ったのですが、日本では訪れた方が料理や飲み物を買って行ったり、お金を支払うなどすると思うのですが、中国では逆で、来てくれた人をもてなす文化が非常に強いらしく、料理から何から何まで準備してくれ、手伝おうとすると全力で拒否され、座ってくつろぐように言われたことが驚きでした。

**Ⅲ．留学希望者へのアドバイス**

**①　留学先大学の良かった点、悪かった点**

今回 UNSW に派遣されたのが、私が初めてで 1 人だけだったこともあり、制度が整っていなかったので住居から現地での困ったことの相談まで 1 人で決めて解決しないといけませんでした。それが良くも悪くも自分で行動して選択しながら留学生活を進めることになりました。

**② 日本から持っていって、特に役に立ったもの**

パソコンは必須です！どのキャンパスにも十分 PC や印刷機器は揃っていますが、プレゼンテーションの際や、特に大学の授業では毎回パソコンでノートを取るので、無いととても不自由だと思います。また、保険に必ず入るので何かあった時の心配はいらないと思いますが、少し頭痛腹痛がするなどといった時、飲み慣れた日本の常備薬があると安心です。あと、日本で使っている英語の文法の本が 1 冊あれば、再確認したいところがあったらすぐ確認できるので便利でした。

**③ 語学力の向上等、留学の成果、留学前と後で変わったこと**

英語力はもちろん向上したと実感していますが、シドニーは特にいろんな国から人が集まってきているので、それよりも異文化環境の中で生活する力、ストレス耐性は強くなったと感じます。

**④ これから留学をしようと思っている後輩へのアドバイス**

留学と聞くと楽しそうなイメージと、新しい環境でやっていけるのか心配に思うことの両方があると思います。もちろんそのどちらかだけ経験する、なんてことは絶対にないと思います。しんどいことを乗り越えれば楽しいことがあるし、その後にまたしんどいことが起きると思いますが、留学することを決意した人なら誰もがそれを乗り越えることができると思っています。海外の大学へ留学できるチャンスなんて滅多にないと思うので、まず挑戦できる環境に感謝して、楽しむことが一番だと私は思います(^^)

**Ⅳ．将来の目標**

**① 今後の進路、将来の目標・夢**

留学当時は卒業後もワーキングホリデーでまたオーストラリアへ留学するつもりでしたが、コロナで来年にビザが発行される状態にあるかわからなくなった為、元々志望していたエアライン業界を中心に就職活動をしていました。ですが業界的に殆ど採用が停止しているので、結果的に国は違えど卒業後は何年間か留学をするつもりです。

## Ⅴ．写真

友達とペイントボールをしに行った時の写真です。本物さながらの重い銃を持ち撃ち合うのですが、撃たれると激痛でアザになり、しばらく跡が消えませんでした。笑

中国の友人と土曜日に開催されているマーケットに遊びに行った時の写真です。この時はたまたま違うイベントと重なり、より賑わっていてラッキーでした！

語学コース終了時のセレモニーで撮ったクラス全員の写真です。クラスのほとんどが普段着で行くと行っていましたが、仲が良かったイタリア人の子に促されてちゃんとフォーマルにしました(笑)。

2019 年度（秋スタート・1 年）
University of New South Wales

世界最大規模の LGBTQI パレードのマルディグラに行った時の写真です。シドニー中がお祭り状態で、日本ではまだこういった大規模な LGBTQI イベントは聞いたことがないのでとても驚きました。

2019 年度（秋スタート・1 年）
University of New South Wales

シドニー郊外で行われた音楽フェスに行った時の写真です。以前からこのウルトラフェスに行きたかったものの、年齢制限が 21 歳以上だったので、この時人生で初めて行くことができました。